

のぎ町議会だより



第113号
平成28年5月1日



～桜咲く夜空に浮かぶ熱気球～
第2回野木町春まつり
(総合運動公園にて)

3月 定例会	… ② ～ ⑨
2月 臨時会	… ⑨
一般質問	… ⑩ ～ ⑰
賛否の分かれた案件	… ⑱

編集発行 野木町議会 議会だより編集委員会
〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571
☎0280(57)4106 (FAX) (57)4190
E-mail: gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp



平成28年熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます

平成28年 3月定例会



平成28年度予算や条例の制定・改正などの重要な案件を審議しました

3月定例会を3月3日から17日までの15日間の会期で開催しました。平成28年度予算案件9件、平成27年度補正予算案件10件、条例制定案件5件、条例の一部改正案件15件など合計42案件が町長から提案され、審議の結果、原案のとおり可決しました。



一般会計予算額は、79億7千万円

前年度比5億6,000万円減。町税等自主財源率は57.8% (対前年4.7%増)。
 主な事業内容は「歳出」の項に掲載のとおりです。

歳入

区 別	平成28年度	構成割合	平成27年度 (当初予算額)	増減額
① 町税	36億6,958万円	46.1%	36億8,504万円	△1,546万円
② 地方交付税、地方譲与税等	11億5,450万円	14.4%	16億3,904万円	△4億8,454万円
③ 国・県支出金	13億6,606万円	17.2%	10億5,000万円	3億1,606万円
④ 町債	8億4,630万円	10.6%	13億 750万円	△4億6,120万円
⑤ 繰入金	5億9,000万円	7.4%	5億2,040万円	6,960万円
⑥ その他(繰越金等)	3億4,356万円	4.3%	3億2,802万円	1,554万円
合 計	79億7,000万円	100.0%	85億3,000万円	5億6,000万円

(注) 自主財源とは、①、⑤、及び⑥の一部の合計です。

歳出

民生費……25億715万円

○児童保育事業費……………	4億7,192万円
○自立支援給付金……………	4億1,009万円
○児童手当給付金……………	3億9,180万円
○介護保険特別会計繰出金……………	2億6,936万円
○後期高齢者医療事業……………	1億8,999万円
○国民健康保険特別会計繰出金……………	1億6,488万円
○こども医療費助成金……………	1億 122万円
○学童保育事業費……………	8,891万円
○後期高齢者医療特別会計繰出金……………	5,248万円
○町社会福祉協議会補助金……………	3,717万円

総務費……10億4,921万円

○町施設振興事業団補助金……………	2,599万円
○参議院議員選挙費……………	1,795万円
○野木東工業団地周辺開発事業特別会計繰出金……………	1,460万円
○別館トイレ、給湯室設置事業……………	1,401万円
○町長選挙費……………	1,207万円
○栃木県知事選挙費……………	1,098万円
○評価替えに伴う標準宅地鑑定評価……………	791万円
○庁舎等補修工事……………	740万円
○企業誘致奨励金……………	739万円
○社会保障税番号制度システム整備費……………	735万円

農林水産業費……3億2,532万円

○基盤整備促進事業……………	5,306万円
○農業集落排水事業特別会計繰出金……………	4,770万円
○団体営農業農村整備費……………	2,551万円
○地籍調査費……………	2,190万円
○多面的機能支払交付金……………	1,810万円
○総合戦略事業(新規就農相談会等)……………	1,087万円
○元気な森づくり推進費……………	736万円

衛生費……7億5,367万円

○小山広域保健衛生組合負担金……………	3億1,898万円
○ごみ収集事業……………	1億 167万円
○予防接種費……………	6,146万円
○健診事業費……………	4,140万円
○健康センター管理運営委託費……………	3,000万円
○乳幼児、妊婦検診事業……………	2,141万円
○家庭用合併処理浄化槽設置補助金……………	824万円

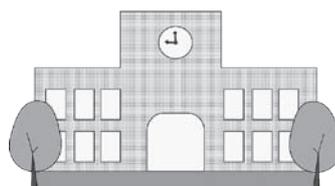
土木費……10億4,850万円

○公共下水道事業特別会計繰出金…	3億2,116万円
○町道整備費…	2億9,083万円
○町道管理費…	1億1,627万円
○公園管理費…	7,981万円
○新4号国道アクセス道路整備費…	3,762万円
○はくうんの木公園整備費…	2,500万円
○公共交通活性化事業…	1,569万円
○定住促進事業費…	1,514万円



教育費……12億1,677万円

○友沼小学校校舎大規模改修等工事費	1億2,465万円
○文化会館管理運営委託事業…	9,367万円
○小中学校給食調理業務委託費…	7,769万円
○総合戦略事業（ICT支援業務等）	4,803万円
○幼稚園就園奨励費補助費…	3,746万円
○野木二中屋外プール改修工事費…	3,622万円
○野木中武道館屋根等改修工事費…	3,152万円
○南赤塚小屋内運動場屋根等改修工事費	2,814万円



公債費・消防費

……8億6,754万円

○公債費元利償還金…	5億 759万円
○常備消防事務委託費…	2億3,245万円
○防災行政無線整備費…	3,715万円
○消防団機械器具置場整備費…	2,553万円
○洪水ハザードマップ等作成事業…	290万円

水道事業会計（地方公営企業会計）

（単位：千円）

	収 入	支 出
収 益 的	3億7,918万円	3億7,797万円
資 本 的	2,086万円	3億1,603万円

収益的収支とは、水道事業の経営活動により発生する収支。（水道料金、人件費、減価償却費等）
資本的収支とは、施設の建設改良に関する投資的な収支で、将来の収益に結びついていくもの。
（公営企業債、建設改良費等）

会 計 別 予 算 総 括 表 （当初予算ベース）

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	増減率(%)
一 般 会 計 賛成多数で可決	79億7,000万円	85億3,000万円	△5億6,000万円	△6.6
国民健康保険特別会計 全員賛成で可決	34億4,627万円	33億8,194万円	6,433万円	1.9
介護保険特別会計 全員賛成で可決	17億5,535万円	17億3,706万円	1,829万円	1.1
後期高齢者医療特別会計 全員賛成で可決	2億4,467万円	2億3,346万円	1,121万円	4.8
農業集落排水事業特別会計 全員賛成で可決	6,115万円	5,569万円	547万円	9.8
公共下水道事業特別会計 賛成多数で可決	8億7,185万円	8億4,080万円	3,106万円	3.7
町営墓地事業特別会計 全員賛成で可決	7,580万円	7,259万円	321万円	4.4
野木東工業団地周辺開発事業特別会計 全員賛成で可決	3億2,831万円	3億5,453万円	△3億2,623万円	△92.0
合 計	144億5,340万円	152億 606万円	△7億5,266万円	△4.9

○平成28年度一般会計予算

(反対) 坂口 進治 議員

①交流センターの維持管理費が当初は、2千万円との事だが、今年度予算では約2倍の経費が掛かる事になり、初年度だけではなく、軌道に乗るまでこの事では、将来に負担を残すことになる。

②別館トイレ工事設計が説明なしに変更、審議に影響。

③丸林保育所跡地利用の計上がな<有効活用しない事。

④はくうんの木公園整備に約1億2千万円も掛け、利用が夏の一時に限定されると推定出来ること。

⑤予算編成に当たり、業者見積りを参考に予算額を計上しているが、民間と比較すると高額なこと。

○平成28年度一般会計予算

(反対) 宮崎 美知子 議員

一、学童保育事業、人材派遣会社委託がどれ程高つくのか。そのツケは町民と学童児が負つことになる。

二、友沼小校舎改修事業、計画

性・費用対効果等の検討がない。

このまま進めて良いのか。

当初計画額自体不透明であり、工事費が2倍近くに膨らんでも町から説明もない。3工種の工事額積算すら示さない。

三、100%補助の友沼小太陽光発電設置事業だが、それに加える町支出額が補助額以上。野木町は極端に高過ぎる。

四、「交流センター」の経常事業費は、当初計画の約2倍の3千800万円となっている。

○平成28年度公共下水道事業特別会計予算

(反対) 坂口 進治 議員

今回の、逆川排水機場耐震診断業務の予算計上について、日本耐震診断協会の診断料金の目安を参考にすると、鉄筋コンクリート造で3千mまでの建物で概ね約2千5百円との事、特殊建築物としても超高額な見積もりと言えらる。

今後、関連工事が行われることになる時、診断結果によっては、設計変更になる事が懸念されるので、逆川排水機場に関する全ての必要となる事業を再検討してから予算を計上することで、費用が増える設計変更を無くするべきだ。

○平成28年度水道事業会計予算

(反対) 柿沼 守 議員

一、予算に関する説明書、キャッシュフロー及び賞与引当金に重大な誤りがある事。

二、借入を行う必要がないのに、支払利息の発生する無駄な借金、企業債2千万円の借入をする事。

三、無駄な支払利息の総額が年間試算で1350万円になっている。これは町民が納める水道料金の無駄遣いである。

キャッシュフロー及び賞与引当金の誤りの訂正と無駄な借金2千万円の企業債借入の減額修正、及び、町民目線のきめ細かな町政を求めて、反対討論とする。

○平成28年度水道事業会計予算

(賛成) 鈴木 孝昌 議員

議案の附属書類を訂正したが、議案そのものに影響を及ぼすものではない。

今後は、附属・参考資料についてもチェック体制の充実を計り精査する様、努力を願う。企業債においては、世代間の公平性という観点から理解できる。

今後、思川浄水場施設改良、老朽化に伴う配水管の布設替え工事

の用途が立った時には、水道財政を鑑み、起債の研究・検討を望む。

水道事業の大事な目的である安全な水を安定して供給する為に、一層の努力と事業推進を求め、賛成討論とする。

条例の制定

職員の退職管理に関する条例

— 全員賛成で可決 —

地方公務員法の改正に伴い、退職した職員が在職中の職務に関する業務上の依頼等を行うことを制限するなど定めるため、本条例を制定する。

職員の降給に関する条例

— 全員賛成で可決 —

地方公務員法の改正に伴い、職員の意に反する降給に関する必要な事項を定め、分限事由の明確化を図るため、本条例を制定する。

野木町行政不服審査会条例

― 全員賛成で可決 ―

行政不服審査法の全部改正に伴い、新たに野木町行政不服審査会を設置し、当該機関に関する必要な事項を定めるため、本条例を制定する。

行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

― 全員賛成で可決 ―

行政不服審査法の全部改正に伴い、既定の関係条例（行政手続条例・情報公開条例・税条例・固定資産放火審査委員会条例・手数料条例）について、所要の改正を行うため、本条例を制定する。

野木町消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

― 全員賛成で可決 ―

「不当景品類及び不当表示防止法等の一部を改正する等の法律」により「消費者安全法」が改正され、消費生活センターの設置及び運営等に関する事項を条例で新たに定めるため、本条例を制定する。

条例の一部改正

野木町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

地方公務員法の改正に伴い、法律規定との整合性を図るための改正。

単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

地方公務員法の改正に伴い、法律規定との整合性を図るための改正。

野木町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

人事院勧告による国家公務員の特別職の給与の一部改正に伴い、野木町議会議員の期末手当の支給率を改めるため改正。

野木町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

人事院勧告による国家公務員の特別職の給与の一部改正に伴い、野木町長等の期末手当の支給率を改めるため改正。

野木町職員の給与に関する条例等の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

人事院勧告による国家公務員の特別職の給与の一部改正に伴い、野木町職員の期末手当の支給率等を改めるため改正。

野木町職員の給与に関する条例等の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

職階による支給額の格差を解消するための改正。

野木町特別旅費の支給に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

職階による支給額の格差を解消するための改正。

野木町個人情報保護条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

行政不服審査法の全部改正に伴う所要の改正を行い、また指定管理者への罰則を規定するための改正。

野木町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

― 全員賛成で可決 ―

行政不服審査法の全部改正に伴い設置する野木町行政不服審査会委員の報酬を定め、また、消防団本部団員の報酬額を変更するための改正。

野木町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

―全員賛成で可決―

消防団員の規制について、消防組織法の規定と町例規との整合性を図るための改正。

野木町こども医療費助成に関する条例の一部改正

―全員賛成で可決―

こども医療費助成制度について、現物支給対象年齢を12歳未満から15歳未満へ拡大するための改正。

野木町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

―全員賛成で可決―

介護保険法等の改正に伴い、地域密着型通所介護に関する規定が追加され、一部の施設設置認可が県から町に移譲されたことによる改正。

野木町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

―全員賛成で可決―

介護保険法等の改正に伴い、認知症対応型通所介護事業所にも運営推進会議を設置することが追加されたことによる改正。

野木町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

―全員賛成で可決―

新たに野木第二工業団地地区の地区計画を決定することにより、地区計画区域内に建築する建築物に制限を設けるための改正。

野木町水道事業給水条例の一部改正

―全員賛成で可決―

給水装置工事手数料設定の簡略化を図るための改正。

議会の議決すべき事件

定住自立圏の形成に関する協定の締結

―全員賛成で可決―

定住自立圏の形成が、今後のまちづくりに大きく影響することから、町政の重要事項の意思決定として議決。

第8次野木町総合計画基本構想の策定

―全員賛成で可決―

野木町の将来像や施策の大綱を定めるもので、町政の重要事項の意思決定として議決。

町有財産の処分

―全員賛成で可決―

処分財産 土地(地目 田及び畑) 所在地 友沼字新橋
面積 5520番地1他 9万4638㎡
処分方法 売払い
売払価格 3億9758万円

補正予算

一般会計 (第7号)

―全員賛成で可決―

予算に3億2013万円を追加し、総額を91億3846万7千円とする。

これは、公共施設整備基金積立金の増(3億9758万円)、臨時福祉給付金の増(6000万円)、小山広域保健衛生組合負担金の減(5772万円)や道路新設改良事業の減(5580万円)が主な理由である。

国民健康保険特別会計 (第3号)

―全員賛成で可決―

予算から9714万2千円を減額し、総額を3億3123万4千円とする。

これは、後期高齢者支援金の減(3790万円)、介護納付金の減(3570万円)、保険財政共同安定化事業拠出金の減(1812万円)が主な理由である。

介護保険特別会計 (第4号)

— 全員賛成で可決 —

予算に4億63万円を追加し、総額を18億3057万円とする。

これは、人事院勧告による職員給与費の増(388万円)および地域包括支援センター運営業務委託量の増75万円の増によるものである。

後期高齢者医療特別会計 (第3号)

— 全員賛成で可決 —

予算に6億14万1千円を追加し、総額を2億4570万8千円とする。

これは、後期高齢者医療広域連合納付金の増(594万円)が主な理由である。

農業集落排水事業特別会計 (第3号)

— 全員賛成で可決 —

予算に8万6千円を追加し、総額を5950万1千円とする。

これは、人事院勧告による職員給与費の増(8万6千円)、県の物件移転補償金の歳入増に伴う農業集落排水事業費の財源内訳補正によるものである。

公共下水道事業特別会計 (第3号)

— 賛成多数で可決 —

予算から1億566万7千円を減額し、総額を8億3439万7千円とする。

これは、事業費確定による公共下水道事業費(管渠工事関係費)の減(576万円)、一般管理事務費の減(522万円)の減、特定環境保全公共下水道事業費(舗装復旧工事費)の減(470万円)が主な理由である。

町営墓地特別会計(第1号)

— 全員賛成で可決 —

予算に1億242万円を追加し、総額を8500万9千円とする。

これは、町営墓地整備事業債の一括償還による公債費の増(2722万円)、予備費の減(1335万円)、町営墓地管理費の減(100万円)、第3期整備工事実施設計業務委託費の減(45万円)によるものである。

野木東工業団地周辺開発事業特別会計(第2号)

— 全員賛成で可決 —

予算から646万9千円を減額し、総額を3億4869万6千円とする。

これは、野木東工業団地周辺開発・造成等工事費の減(1312万円)、物件補償費の増(904万円)、公債費の減(247万円)が主な理由である。

水道事業会計(第3号)

— 賛成多数で可決 —

収益的支出を100万3千円減額し、資本的支出を5655万5千円減額する。

これは、資本的支出に係る思川浄水場施設費負担金の減(300万円)、量水器交換費の増(219万円)、また、収益的支出に係る

思川浄水場負担金の減(3601万円)、配水管布設計業務委託費の減(1065万円)、排水施設費の減(1000万円)が主な理由である。

討

論

(反対)

柿沼 守 議員

一 予算に関する説明書、キャッシュフローに重大な誤りがあること。

二 借入を行う必要が無いのに無駄な借金をする事。

① 預金が9億円と潤沢に余っている。

② 建設改良費が5千万円の減額補正をしている。

三 預金歩留り率が95%と異常に高く、支払利息年間2252万円の内試算で1460万円は町民が納めた水道料金の無駄遣いである。

キャッシュフローの誤り訂正と、無駄な借金2千万円の企業債借入の減額修正、及び、町民目線のきめ細かな町政を求め、反対討論とする。

(賛成) 小杉 史朗 議員

ごこの家庭でも、いざという場合に使用する預金が必ずあるはずだ。水道会計も同様である。

預金があるのになぜ国から借金するのか、金利負担を考えると税金の無駄遣いだという論法は、あまりにも短絡的な意見ではないかと思う。

特に水道事業という息の長い、しかも生活にとって必要不可欠な事業は、しっかりと計画の下、着実に整備拡張せねばならない。

その為の一定の準備資金が必要なのは火を見るより明らかだ。「備えあれば憂いなし」という諺をかみしめていただきたい。

一般会計 (第8号)

— 全員賛成で可決 —

歳入予算の町債を700万円増額し、基金繰入金を700万円減額する(予算総額は増減なし)。

これは、地方公共団体情報セキュリティー強化対策事業の財源内訳を変更するものである。

2月臨時会

2月5日に会期1日で開催された臨時会において、5議案1報告が提案された。

条例の一部改正

野木町部課設置条例の一部改正

— 全員賛成で可決 —

機構改革により課の設置をするための改正。

野木町環境審議会条例の一部改正

— 全員賛成で可決 —

機構改革により課の名称を変更するための改正。

野木町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

— 全員賛成で可決 —

機構改革により課の名称を変更するための改正。

補正予算

一般会計 (第4号)

— 全員賛成で可決 —

債務負担行為に野木第二工業団地造成事業を追加する。

これは、野木第二工業団地造成事業に関する野木町と栃木県土地開発公社の基本協定に基づき、平成28年度から平成31年度における野木町の事業費用負担に係る予算支出を担保するものである。

工事情負契約の変更

野木新開山工業地区造成工事

— 賛成多数で可決 —

造成工事に関わる契約内容の一部を変更する。

・ 契約金額
変更前 1億 109万円
変更後 1億2320万円

討論

(反対) 坂口 進治 議員

今回の契約変更は、約22%の増額となり民間では考えられない。

①調整池の掘削土を盛土として活用できるか、設計段階で調べておく必要が有る。

過去の工事で事前調査を怠り3回もやり直した。今回の契約に生かされていない。

②伐木材の処分費に大きな違いが出たことは、設計が適切であったか疑問が残る。

③仮設道路鉄板リース料についても、掘り起こした柔らかい土の上でダンプカー等による搬入・搬出が出来ないことは容易に判断出来ること。

報告

専決処分事項の報告

・ 野木町大字丸林地内における交通事故

損害賠償額 15万7919円



問う!

一般質問

一般質問一覧表

日程	質問者	質問の要旨
3/7	黒川 広	1. 所信表明について
	坂口 進治	1. 所信表明について
	長澤 晴男	1. 町営墓地の維持と管理について 2. 百人一首の普及について
	宮崎 美知子	1. 町立小学校の子どもたちの学力向上と、教育環境整備について
	野本 新一	1. 町の活性化策「健康タウンプロジェクト」について 2. 第5次野木町行政改革大綱（案）について 3. 野木町郷土館について
3/8	柿沼 守	1. 所信表明の健康タウンについて 2. 寄附金・ふるさと納税について
	松本 光司	1. デマンド交通について 2. 安全・安心のまちづくりについて 3. 工事請負契約の変更について（平成27年度）

(説明員)

町長・真瀬宏子 副町長・館野本嗣 教育長 中野晴永
 総合政策部長・真瀬栄八 町民生活部長・大森和男 産業建設部長・小泉晴雄
 会計管理者兼会計課長・館野正文 総務課長・伏木富男 政策課長・老沼和男
 税務課長・上原 栄 住民課長・町田 功 健康福祉課長・田村俊輔
 生活環境課長・石渡 真 産業課長・赤坂孝夫 農業委員会事務局長・青木 功
 都市整備課長・上原善一 こども教育課長・渡邊郁郎 生涯学習課長・黒須勝美

*ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものをもとに、編集しました。

一般質問は、町政の諸問題や将来の展望などについて、町長の方針を問うものです。



総合戦略における農業施策の課題とは

総合戦略では農業問題の対処について、雇用の創出、担い手の育成、農産物の高付加価値化などの施策を提示している

問 所信表明について質問する。
野木町総合戦略と第8次野木町基本計画において4つの基本目標が掲げられているが、相互の関連性が図られているように思えない。町長はどのような認識をもっているのか、伺う。

町長 総合計画を策定するときの根幹として、総合戦略の心、その精神が総合計画に振りまかれていると、地下水のようにどこからでもみ取れるような、そういう政策に持つていくことを心がけた。

問 精神論は一緒だが、なお言葉だが、なぜ疑問を持ったか、1つの具体的な例を示して伺う。

副町長 総合戦略では農業委員会は、認定農業者、農業法人などの農業経営者の方であり、座長は町長、我々は事務局として参加している。差向きは

問 総合計画の基本構想の下の部分にある基本計画の中で「農業の振興」として各施策を位置づけている。

副町長 農業者懇話会を設置すると聞いていますが、どのような構想を持っているのか。

問 総論的な部分にあっては、水産費の事業計画には、それに係わる事業は全く計画されていない。認識の差があるのか。

副町長 総論的な部分にあっては、水産費の事業計画には、それに係わる事業は全く計画されていない。認識の差があるのか。

問 土地利用型を課題とする。単なる諮問会議的な場では意味がないと理解するが、どうか。

副町長 決して諮問会議的な性格ではない。現場実務者の方の意見を取り入れて、今後の施策を検討していく前向きな懇話会である。

問 自治基本条例の1年延長の理由は何か。

副町長 町民が主役としての条例であることから、条例自体の趣旨等について町民のコンセンサスをとるための期間として、1年延長するものである。



くろかわ ひろし
黒川 広 議員

答

問

実効施策を策定する最後の機会となる農業者懇話会を諮問的な場とすべきでないと考えるが、諮問的でない、施策策定につながる前向きな懇談会として機能するよう運営を図る



ワーク・ライフ・バランスをテーマに開催した女性町長サミット



さかぐち しんじ
坂口 進治 議員

問

自治基本条例の制定は、27年度の所信表明の正念場としたが、1年延ばした原因について

答

より町民のコンセンサスを得ることが重要であると考え、そのため期間延長をした

問 自治基本条例の制定は、27年度の正念場としたが、1年延ばした原因について。

町長 自治体の基本条例として、研究し文章として条例化すること、スムーズに進めると思っていて町民の理解も2年間あれば大丈夫と思っていた。しかしながら、推進会議の皆様は、町民の代表、議会の代表、識見者の人たちで、一部の人であるので、できると思っただけ、地域を回って説明会を開き、丁寧に町民と会話し、パブコメをかけ、誇りのある自治基本条例を作るため。

問 男女共同参画プロジェクトは、一億総活躍社会実現のため継続すべきだが、入っていない理由について。

町長 町民の皆様から女性町長の私に対して、差別的、蔑視的な言葉をもらったことは一度もない。男性も女性も差別なく執行している政策の中、男女共同参画が、地下水のように脈々と漂っているが、宣言しなければ、文章化しなければわからないとの指摘だと思っただけ、次年度以降は、検討・研究していきたい。

問 所信表明の中に、職員の人材育成と責任体制の確立が全く触れられていない理由について。

町長 人材育成は基本計画を立て直したばかりで、議会にも報告をしたと思うが、大変重要な事である。所信表明の中に書くというよりは、行政執行の中で計画立案、実行していく。職員の意識は、町長になった当初よりも高くなったと思っている。

問 第一松原踏切の拡張工事を謳ってあるが、子ども・高齢者の安全確保のためにも、町の対応について伺う。

町長 今年度は警察・JRと協議を進めており、現況測量を行った。今後は、地元説明会を開催したい。接続道路に注意看板と路面標示を行い、安全確保に努めている。地元住民より早期の踏切拡張の要望書をもらった。

ており、一日も早く進むよう、先日JRに足を運んだ。

産業建設部長 関係機関と力を合わせ、事業推進していく。

遮断機はそのまま踏切内だけ歩道が有る踏切は承知している。第一松原踏切は側道があり、西側にたまり場がないため事故が起りやすい。事業化は3年後になると思う。



踏切内のみ歩道設置の例（下野市内）



ながさわ はるお
長澤 晴男 議員

問

少子高齢化による『使用墓地の放置』が懸念される。町の対応について伺う

答

町営墓地においては、『無縁化・墓離れ』は無いが、注意していきたい

問 少子高齢化のため、『限界集落』、『耕作放棄』、『シヤッター通り』など、以前にはなかった言葉がとても多くなっている。

高齢化と人口減少を特に感じられる町内住宅においては、平成27年12月現在で161軒が空き家になっている。

そのような中、今回の質問は、最近話題になっている『墓地の無縁化』と、『墓地の放置』についてである。墓を守る人がいなくなり、各寺院や自治体では大変困っているという。



無縁墓地が生じた場合の対策とは？

ないため、大阪市では15年間で4千基処分し、5億円の費用が掛かったとのテレビ放送があった。

墓の扱いは宗教上の事で道徳的にも慎重にすべきであるが、町はどのように対応するのか伺う。

町長 平成28年2月現在、①芝生墓地676基、②普通墓地276基、③合葬墓地25基で、平成21年に売り出して以来、使用料の滞納者はいない。現在の墓地使用状況は、販売されているすべての墓所において、

『墓離れ』や『無縁化』の状況は無い。しかし、今後の少子高齢化により、継承されない墓所が発生する心配もあるので注意していきたい。

問 高価な墓石の盗難も多発している。防犯カメラを設置すべきと思うが如何。

生活環境課長 検討する。

問 平成に入ってから、デジタル化・IT化が進歩し、家族の会話が少なくなっている。野木町は『読書の町』

を宣言しているが、百人一首は古典文学入門に最適と言われている。最近では、『1枚ずつ読み上げ現代語に訳す』使い方をしている。

家族・学校・友達の間で使用することで、古典の勉強になる。このような百人一首

生涯学習課長 紙が百枚のため、紛失の心配がある。



百人一首による古典文学の普及を



改修工事がはじまる友沼小学校

町内5校の傾向は異なる。各小で課題を明らかにし全校体制で取り組まなければならぬが、中学校では平均を上回った。基礎学力が大きく欠け、修復困難な状況とは思っていない。

町内5校の傾向は異なる。各小で課題を明らかにし全校体制で取り組まなければならぬが、中学校では平均を上回った。基礎学力が大きく欠け、修復困難な状況とは思っていない。

町内5校の傾向は異なる。各小で課題を明らかにし全校体制で取り組まなければならぬが、中学校では平均を上回った。基礎学力が大きく欠け、修復困難な状況とは思っていない。

町内5校の傾向は異なる。各小で課題を明らかにし全校体制で取り組まなければならぬが、中学校では平均を上回った。基礎学力が大きく欠け、修復困難な状況とは思っていない。



昇降口から見た友沼小学校

問 平成26・27年度町立小学校『全国学力テスト』の結果をどのように見ているか。

全国比較で多くの評価を下回った。国語では説明文を書くこと。算数では筋道を立てて考えることに課題があった。2年連続して低い結果が出たので、多面的視点から分析し共通の改善策を示した。

私は、過度の競争をある『学力テスト』は、子どもの豊かな発達に有効ではないと考えているが、今後も参加するのであれば、結果として正答率を上げる学力向上策を考えるべきである。

友沼小校舎改修工事費が、いつの間にか計画額の2倍になり全体で約3億4千万円となった。

野木町では経済力と低学力の関係は特別感じられない。

子どもたちの将来にとって、いい影響がある事と確信できれば検討研究していく事も大切と思う。



みやざきみちこ 議員

答

問

町内小学校、学力不振の傾向が出ている。不透明な改修工事は見直し、学力の底上げに力を入れるべきである。教育環境の平等性を図ることが基本。工事費は、学校の状況と、ハード面で生徒に不平等が起きないためである。



仮装パレード前のラジオ体操

問 町の活性化策「健康タウンプロジェクト」について、地域の結びつきの強化と健康度を高める地域づくりのためにも、ラジオ体操を普及すること

「健康づくりの見える化」を推進してはどうか。

町長 町としては、町民が気軽に多くの場所で行うように、ラジオ体操ができるように、普及啓発に努め健康寿命が延びるよう支援していきたいと思っています。



の もと しんいち
野本 新一 議員

問

効果的・効率的な行政運営のための人材活用について

答

今後、シルバー人材センターへの事業の拡大には協力していきたい

問 宣言だけでなく、行動が伴うべき。ラジオ体操2級指導士の資格取得の支援や小学校教員のラジオ体操指導者講習会等、町からの支援体制がとれるか。

町長 職員OBは平成26年度から希望により再任用職員として勤務しており、今後も活用を図っていく。シルバー人材センターは、高齢者の就業機会の増大、生きがいの推進等、地域社会の活性化にもつながるため、シルバー人材センターへの事業の拡大には協力したい。

運営について。職員OBやシルバー人材の活用について伺う。

町長 町庁舎の受付案内を課長職にあるものが行っているが、住民目線で見ると課長職にある者は本来の仕事に就くべきで、受付を

OBやシルバー人材を活用する考えはないのか。

総務課長 きらり・ナビ（総合案内）は、平成20年11月から実施している。住民サービスと職員自身の接遇力の向上、これを目的としている。現時点では、シルバーとかOBの方にもお願いするというよりも、この目的に沿った形で今後も職員の中で継続していきたいと思っています。

政策課長 来庁される障がい者の方への対応として、手話通訳の取得、庁舎内に授乳施設のベッドを設置してはどうかなど12件ほど出ている。

問 第5次野木町行政改革大綱（案）の効果的・効率的な行政

効果的・効率的な行政

問 町庁舎の受付案内を課長職にあるものが行っているが、住民目線で見ると課長職にある者は本来の仕事に就くべきで、受付を

に就くべきで、受付を

問 職員の提案制度について。住民サービスや職員の勤務意欲にも係ると思う。提案をいくつか紹介して下さい。

さい。

野木町人材育成基本方針

求められる職員像

- 1 町民との協働
- 2 企業経営的感覚
- 3 チャレンジ精神
- 4 主体性と独自性
- 5 公共性と平等性



かきぬま まもる 柿沼 守 議員

問

空き家となる丸林保育所の利活用へヘルストレーニングルームの設置を提言する

答

フィットネス施設が町民より要望が多いと認識している。状況が整った時に提案する。

問 健康タウンのぎのビジョンについて

町長 基本理念「自分でつくる みんなで支える キラリと光る健康タウンのぎ」である。

問 健康タウンプロジェクトの具体的な取り組みは。

町長 健診事業、健康増進事業、食生活改善推進事業等に取り組む。

健康づくりのハード面では公園にストリートが出来る遊具を計画的に整備する。

問 空き家になる丸林保育所を地域の老若男女がいつでも気軽に利用し、生き生きと



空き家となる、丸林保育所

活動して健康寿命を伸ばす「まちなぎ」にする。町民が要望する、ヘルストレーニンググループ

とボールプールのある子どもも遊べるキッズ広場。野木町にしかない地域に密着した施設に改造して、貴重な財産を有効に活用する事を提言する。

副町長 今後どのような施設にするか、検討していきたい。状況が整った時に提案する。時期が来たら、議会の全協等で

諮りたい。

問 ふるさと納税のメリットは。①寄附金で町の増収になる。

②町特産品の贈呈により町内の活性化になる。③町のPRとイメージアップになる。

昨年の税制改正により、他市町では積極的な取り組みにより、倍増している。

ポータルサイトのふるさとチョイスのふるさと納税額データで、昨年6ヶ月間で野木町は33万円。

小山市は、2437万円と昨年比13倍。境町は町長が率先して取り組み、1億1587万円と7倍となっている。

る。

この近隣市町の取り組みと寄附金額が倍増している実績を町当局はどのように認識しているか。

町長 今後は返礼品に特産品や野菜の詰め合わせを検討する。工夫の余地がある。宣伝の方法など積極的に取り組みを研究する。

問 町長に伺う。全町で取組成果を上げていく境町を研修に行かれては如何か。

町長 行く、いかないは別にして、我が町のふるさと納税の現状は打開しなければならぬ。広報宣伝に努力する。

・ふるさと納税 実績・ふるさとチョイスより 単位：千円

	平成26年度	平成27年上半期	倍数
野木町	637	334	1倍増
小山市	3,647	24,378	13倍増
古河市	80	10,480	262倍増
境町	31,421	115,871	7倍増



デマンドタクシー（キラ輪号）

問 キラ輪号の利用状況は。

町長 1月末現在の登録者数は2160人で、1日当たり38・6人が利用。70才以上の高齢者が80%を占め、大半が女性。医療機関への利用が62%、次に、

スーパー、公共施設である。

問 キラ輪号の運行エリアが一般タクシーとのすみわけのため、野木町全域と町外の一部医療機関に限定されている。本議会で

議決された小山市区定住自立圏形成協定で、相互に乗り入れるエリアの拡大を重要案件として取り上げては。

町長 小山市と野木町に相互に利点があれば、検討したい。

問

野木町デマンドタクシー（キラ輪号）と小山市循環おーバスの連携による、運行エリアの拡大は

答

地域公共交通の相互乗り入れは、小山地区定住自立圏形成協定で検討する

問 キラ輪号が間々田駅に乗り入れれば、おーバスを使い新小山市民病院が利用しやすくなるのでは。

町長 町外の運行エリアの拡大は、交通事業者と協議、調整が必要と考える。

問 おーバスが野木駅に乗り入れれば、駅までキラ輪号で行き、新小山市民病院が利用しやすくなるのでは。

町長 キラ輪号とおーバスの連携については、お互い有益な路線や、どういった形が一番利便性を上げるか協議

する中で、コストの設定も必要と考える。

問 おーバスが生井地区を経由し、野木町内に循環バスとして運行すれば、キラ輪号と組み合わせで、市民の足となる小回りの利いた交通網が整うのでは。

町長 小山市民との交流と言う意味で、下生井地区については野木駅が近くなり魅力ある駅になる。当然、おーバスの乗り入れは当町から、小山市に対して提案していきたいと考えている。

問 昨年6月、改正道路交通法の施行に伴い、危険なルールの

周知徹底と自転車の安全対策は、スタントマンの恐怖直視方式による、交通安全教室を開催しては。

町長 人形を使って交通安全教室は、実施している。

問 平成27年度工事請負契約の度重なる変更は、限られた人件費のため、土木や建築など専門分野の人員不足によるチエックミスが起りやすいと

考えられる。改善策として、専門職の臨時採用や町民で



変更契約された新開山工業団地の造成工事

各議案に対する賛否（議長を除く）

（賛否の分かれた案件のみ記載しています。他の案件は全員賛成で可決されました。）

議案	議 員													賛成	反対	採決結果	
	宮崎美知子	眞瀬薫正	小杉史朗	長澤晴男	柿沼守	鈴木孝昌	坂口進治	黒川広	折原勝夫	野本新一	松本光司	針谷武夫	小泉良一				
平成28年2月臨時会																	
工事請負契約の変更	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	2	可決
平成28年3月定例会																	
平成27年度野木町水道事業会計補正予算（第3号）	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	3	可決
平成28年度野木町一般会計予算	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	3	可決
平成28年度野木町公共下水道事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	11	2	可決
平成28年度野木町水道事業会計予算	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	3	可決

※表内の○は賛成、×は反対

野木町議会の傍聴に是非お越し下さい。 次の定例会は6月7日からの予定です。

3月					2月					1月														
30日	28日	26日	25日	18日	16日	10日	3日	24日	23日	21日	20日	19日	7日	6日	5日	3日	1日	26日	24日	16日	15日	12日	10日	8日
中学校卒業式 小山市広域保健衛生組合議会定例会 小学校卒業式 春の交通安全町民総ぐるみ運動全体会議 下野市制施行十周年記念式典並びに新庁舎内覧会 平成28年第1回栃木県南公設地方卸売市場事務組合議会臨時会 南部清掃センター竣工式					平成28年第2回野木町議会定例会（～18日） 議会全員協議会 議長会議・研修会 栃木県町村議会議長会平成27年度第3回議長会議					平成27年度「町民の集い」 平成27年度栃木県民スポーツ大会優勝祝賀会並びに野木町体育協会活動報告会 栃木県町村議会議長会平成27年度第3回議長会議・研修会 平成27年度小山地区安全運転管理者協議会「優良安全運転管理者等表彰式並びに受章祝賀会」					平成28年第1回野木町議会臨時会 交通安全・防犯・暴力追放市民大会 熱気球体験教室 議会運営委員会 平成28年第1回野木町議会臨時会 交通安全・防犯・暴力追放市民大会 議会運営委員会 議会全員協議会 平成28年第1回野木町議会臨時会 交通安全・防犯・暴力追放市民大会 議会運営委員会 議会全員協議会 第44回野木町駅伝大会 小山市野木町議会議員意見交換会 交通安全早朝街頭啓発活動 議会全員協議会 不法投棄監視									

議会・議長のうごつき

議会だより編集委員会

委員長	宮崎美知子
副委員長	野本新一
委員	小泉良一
委員	針谷武夫
委員	松本光司
委員	折原勝夫

*** 編集後記 ***

三月のある朝、「ホー、ホケツ」と鳴く鶯の声が目が覚めた。未だ上手く鳴けないのだ。新米の鶯である。私も新人議員として、未熟なところが何となく重なり、「頑張れ！鶯君！」と、思わず心の中で応援をしていた。

その数日後、「ホー、ホケキョツ」と綺麗な鳴き声を耳にした。先日の新米鶯が一人前に鳴けるようになったのだろうか。私も僅かながら希望が持てた。

日本の社会では、四月から新年度が動き出す。三月は、それまでの実績を基に反省し、新年度に向けての準備の時でもある。あらゆる人たちが、個々の目標に向かって活躍したいと願っている。

先輩議員も新人議員も新年度を迎えるにあたり、野木町がさらに住みよい町になるように、日々活動をしている。新たな希望を胸に、編集委員会でも活発な議論が交わされた。

針谷 武夫